

北条

地域の活性化目指す

市長公約の柱の一つ、「誇れる」地域の宝を磨き笑顔に「の主要施策「風早レトロタウン構想」と「愛ランド里島構想」。地域の活性化を目指し、北条地域では風早レトロタウン構想の中間報告を取りまとめ、島しょ部では愛ランド里島構想を策定しました。今回、その概要を紹介いたします。

島しょ部

北条地域の現状

北条地域は、河野氏の歴史や豊かな自然、鹿島や花へんろなど昭和のイメージを持つ魅力ある資源に恵まれています



昭和30年代、多くの人で賑わっていた鹿島

が、鹿島渡船利用者数の減少、商店街の空き店舗の増加など、かつての賑わいが薄れています。そこで、こうした資源の活用や

地域の課題解決に取り組み、北条地域の活性化を図ります。

平成24年度の主な取り組み

○昨年度まとめた中間報告を基に、学識経験者や商工関係者、地域住民の皆さんから意見をいただき構想を策定します。
○「中核エリア」の鹿島やJR北条駅前通り周辺で活性化に向けた事業を推進します。
※「風早レトロタウン構想」中間報告は、市ホームページで見ることができます

昭和の賑わいを求めて 風早レトロタウン構想

風早レトロタウン構想の概略 (平成24年度末策定)

風早レトロタウン構想は

「再生」「継承」「創造」の3つの視点で北条地域の活性化を目指します。

再生

かつて輝いていた「地域の宝」を甦らせる

継承

先人から受け継いだ「地域の宝」を次世代に引き継ぐ

創造

歴史・風土を活かして新しい「地域の宝」を生み出す

2つのエリア

- ・中核エリア……鹿島とJR北条駅前通り周辺
- ・広域エリア……中核エリア以外の北条地域

中核エリアのスローガン

- ・「Re鹿島」……多くの人が集まり賑わいがあつたかつての鹿島にしよう
- ・「期待をカタチに」……JR北条駅前通りに「訪れたい」と思えるきっかけをつくらう

お問い合わせは、坂の上の雲まちづくりチーム ☎948-6991・FAX934-1804へ

愛ランド里島構想の概略 (平成24～33年度)

目指す将来像 島びとが生き活きと輝く笑顔あふれる里の島

推進

5つの基本政策

- 産 業
- 環 境
- 地 域
- 教育や文化
- 福 祉

が 輝く笑顔あふれる里の島

重点プロジェクト

- 暮らしやすい島
海上交通の利便性向上
安全で安心な島づくり
人材の育成
産物の販売促進
- 市民の第二のふるさと
定住促進
里島ツーリズム推進
里島ブランドの確立
未利用施設の利活用

解決

島しょ部の課題

海上交通、台風・高潮・浸水、医療体制・医療サービス・救急活動体制、避難所、農業・漁業振興、定住の促進、高齢化など

お問い合わせは、企画政策課 ☎948-6816・FAX934-1804へ

島しょ部の活性化へ 愛ランド里島構想

背景と目的

本市島しょ部は、豊かな自然や伝統文化など多くの地域資源を有する魅力ある地域ですが、近年は島の基幹産業であるかんきつ栽培や漁業の不振などに、過疎化・少子高齢化が急速に進んでいます。そこで住民、自治会、企業、行政が連携して、



島の観光宣伝大使「しまぼう」

○島の人が通院などで定期船を利用した場合に補助
○農園と居住機能を持つ滞在型交流施設の整備に向けた調査
○島の活性化を担う人材育成
※その他、具体的な実施内容などを実施計画として、24年度中にまとめます。「愛ランド里島構想」は、市ホームページで見ることができます

平成24年度の主な取り組み

島しょ部の持続的発展と活性化につなげ、島の人は暮らしやすく、島以外の人には住みたい・訪れたいと思えるまちづくりを進めます。

地域で育つ松山っ子

第19回 垣生小学校

児童数 男414人・女394人・計808人 (平成24年4月1日現在)



校区巡り鍵谷堂コース

垣生校区の先人(先輩)に学ぶ

垣生小の校訓「考える」は、校区の先人で伊予辨の考案者・鍵谷カナの生き方から学んだものです。また俳句の里としても知られ、村上露月や石田波郷らを輩出した地域の特性を生かし、「自らを鍛え心豊かにたくましく生きる垣生っ子の育成」を目標に日々、教育実践に取り組んでいます。



校訓「考える」

松山っ子の声 (平成23年度当時) 結成式まで1〜5年生を一生懸命教えに行き、本番で一番大きな声があんな出せていたので良かったです。(6年男子)

鍵谷記念なかよし集会・縦割り班結成式 毎年5月28日には、カナの命日にちなみ、校区を挙げて鍵谷祭を行っています。垣生小でも、カナや地域に親しむ活動を通して垣生校区に対する意識を高め、垣生っ子としての連帯感を養おうと、俳句大会と縦割り班での校区巡りを行っています。中学生とのビデオレター交流 さらに昨年度は「垣生小・中学校一貫教育」の研究指定を受けた取り組みの一環として、垣生中生徒とのビデオレター交流を行いました。中学生からのビデオレターは、小学生にとって行ったことのない場所についても知ることができ、児童・生徒間の双方向の交流がさらに深まりました。これらの活動は児童にとっても、校区の素晴らしさと先人(先輩)の思いや気持ちについて考える貴重な機会となっています。校区の先人から学ぶことは垣生っ子にとって、ふるさと垣生を誇りに思う、一つのきっかけになるものも期待しています。